

智頭ロータリークラブ ガバナー公式訪問報告

2019.8.21

場所: 林新館

古瀬俱之ガバナー、森山勝副代表幹事が林新館に到着され、和やかな雰囲気の中で懇談会が始められました。最初に田中潔前会長、西川憲雄会員より当クラブの概要と活動状況の説明が行われ、古瀬ガバナーからは各クラブ訪問時の色々な体験談や感想、これからのクラブのあり方などがお話されました。

少人数でもできる地道な活動を続けることが大切であるということや、会員増強には外に向けての広報活動に効果があることから、他の団体と一緒にやるボランティア活動を企画してはどうかという提案も行われました。さらに会員以外から、ロータリークラブとは何だと聞かれたときに、1分位で話ができるように常に準備しておくことも重要であると述べられました。

懇談会終了後は、例会場へと部屋を移し、バナー交換、記念撮影後、河村仁志会長の点鐘で例会が始められました。卓話の中で古瀬ガバナーからは、アメリカ・サンディエゴで開催された国際協議会での様子が報告され、マローニーRI会長のメッセージが紹介されました。その中で、クラブ会長へ向けた言葉、「自分が最大限の力を発揮するのではなく、クラブ会員の皆さんが最大の力を出せるように考え行動することだ」というメッセージが特に印象深く残りました。

今回の懇談会、例会を通じて、古瀬ガバナーの長年のロータリー活動の知識・経験値から、非常に多くの具体的なお話を聴かせていただきましたし、情報交換、意見交換が行えたことで、これまで抱えていた多くの疑問が理解でき、会員一同が有意義な時間を過ごすことができました。

報告者 副会長 大河原昭洋